

(2) 令和5年度の教育 IR センターからの報告

②共同化科目担当者会議

京都三大学教養教育研究・推進機構 運営委員／京都府立医科大学 教授

高西 陽一

2023年9月25日午後に、令和5年度共同化科目担当者会議がZoomによるオンライン会議として開催された。今回のテーマは仕事や作業のサポートツールとして今話題の生成型AIについてで、その基本的な特徴を学び、生成型AIを教育現場でどのように活用できるか、3大学間で意見交換を行うことを目的とし、外部の先生から基調講演を頂くとともに教育現場で実際に生成型AIを利用している学内の先生をお二方に報告して頂いた。

府立医科大学副学長の橋本先生の挨拶に続いて、国立情報学研究所情報学プリンシプル研究系 教授である宇野毅明先生に、“チャットGPTの特徴をおさえる”というタイトルで基調講演を行って頂いた。先生の言葉を借りれば、ご自身はAIの超専門家というわけではないものの、データマイニングやアルゴリズム理論のご専門とすることで、生成型AIにおいてもかなりの知識をお持ちでありながらAI専門家とは違った視点からのご講演であった。非常にわかりやすくチャットGPTの特徴を解説頂き、門外漢の筆者にも非常に理解しやすい内容であった。チャットGPTの特徴として、PCとのやりとりがプログラムでなく言葉でできる点、文章の成形が得意な点などが挙げられたが、個人的に最も印象的だったのは、実は滑らかにウソをつくと言う点である。文章を生成する場合、意味を持って作るのではなく文字列を作るというもので、論理的な文章を作成することは容易にできるのであるが、その内容や事象が本当に正確であるかまでは判定しないで作成している様である。従って特に日本語がもつ言葉のあいまいさとか、会話の機微、行間を読むことはまだ到底できないと感じた。また未来予測も当然難しいだろうとの見解も先生は挙げられていた。

現在色々な所で話題になっているが、先生の見立てとしては、大きなブレイクスルーがない限りはこれ以上線形的な利用の伸びはないだろうとのことで、結局は人間が如何に知恵を振り絞って効果的に利用 どうか学習させるか、が生成型AI利用のブレイクスルーにつながるのではないかと思われる。

これをいかにうまく使うかということに関しては、利用する人間が生成型AIの特性、特に欠点を理解し、如何にその欠点を埋めて使うか、その工夫を人間が如何に考えて利用するかにかかっていると、うまく利用することができれば、人間の会話能力はこの利用によって上がる可能性があり、コミュニケーション自体はまた別のものであるものの、人間関係の構築力の助けにはなるものと期待できそうである。

さらに先生の部署の方がチャットGPTを必ず使ってレポートを作成させる授業の例を紹介して頂いた。レポートの他に作成のプロセス、つまりどんなプロンプト（チャットGPTに対する命令や質問）を与えたか、それに際しての工夫した点、うまくいかなかった点を報告させ、また学生間で振り返って議論を行うことで、チャットGPTの正しい利用方法を学ぶいい機会になっていたようである。繰り返しになるが、結局有効な活用は人間が如何によく考えるかにかかっている点は他のツールと何も変わりはないと改めて実感した。

続いて京都工芸繊維大学の峯 拓矢先生、府立大学の中根 成寿先生の報告がそれぞれ行われた。特に印象的だったのは峯先生の数学でのチャットGPTの利用例に関する具体的な報告で、宇野先生の講演では滑らかにウソをつくと言うことが述べられていたが、チャットGPTは特に数学の問題も苦手なようで、文章作成とは毛色が異なるが、

一見するとコンピュータのより得意な分野と思われる領域でもそうした欠点が現れるというのは個人的にちょっと意外であった。

その後 30 分程度にわたり参加者からの質問を含めた意見交換が行われた。こちらも非常に活発な意見交換が行われたが、教育効果としては、学生に前向きにチャット GPT を利用させ、出てきた結果（アウトプット）ではなくその使い方（インプット）に主眼を置いて教育を行うことが重要だろうと言うのが共通の見解のように思われた。

こうして 1 時間半が終了した。個人的には会議があつという間に過ぎてしまった感覚で、それは会議の充実度によるものではないかと感じた。筆者はチャット GPT の存在は知っていたものの、ふれたことがほとんどなかったので、利用する際の注意点などが理解でき、非常に勉強になった。そしてできればもっと多くの教員に拝聴して頂くとともに、学生に講演をきいてもらうのも有意義なのではないかと強く感じた。執筆時点でも宇野先生の講演は Youtube にアップされているので、教員の方には是非一度ご覧頂ければと思う。筆者自身も今回の会議で得た知識を学生に少し流しつつ、教育に活かすシーズを得たように強く感じた。

最後になりましたが、非常に貴重なご講演を頂いた 3 先生に感謝を申し上げて報告としたいと思います（ちなみにこの文章にはチャット GPT は使用していませんのであしからず）。



宇野先生のオンライン講義の様子